



## 市民力の結晶『放射能測定マップ』

市民活動の着実な積み上げの重要性とその力をあらためて実感した▼自宅で使う食材の多くは調布市にある「みさと屋」から届けてもらっている。「みさと屋」は八百屋と同時にその奥で食堂を営み、あわせて食品・食材の宅配も行っている。30年以上の付き合いになるが、無農薬・無添加への徹底的なこだわりと、その品質に高い信頼を寄せてきた。宅配の都度、「みさと屋通信」が届けられ、放射能測定への取組報告も載る▼先日、食材等とともに、みんなのデータサイト発行の『図説・17都県放射能測定マップ+読み解き集』が届いた。A4判で200頁にもなる大部の冊子だ。2014年から3年にわたって、約4000人の市民ボランティアが協力して、約3400カ所で土を集めて測定したデータをベースとする。全3章の第1章で都県ごとに土壌マップとその「読み解き解説」、第2章で牛乳、米、魚、キノコ、山菜等の汚染度解析、第3章で放射能に関するさまざまな情報が整理されている。これにコラム、図表が入り、デザインと色合いも見事だ。クラウドファンディングで資金を集め、18年11月に3000部を自費出版したものが、3か月で1万6000部を超えたとかで反響は大きい▼この基本にあるのは、無色無臭の放射能汚染への生産者そして消費者の不安に対応していくために、「土壌や作物の正確な汚染値を知り、消費者にも誠実に伝えることが責任のあり方と考える」での、データへの徹底的なこだわりであり、これにより各自のデータによる判断を誘導する。多くの市民がかかわるが故に実現した快著である。

(土着菌)